

# 長野図書館に質問です！

～レファレンス事例編～

質問4・質問5・質問6・質問7

図書館では、知りたいことがあり、調べてみたけれど情報がどこにあるかわからないときなど、司書が可能な限り調べ、図書館にある資料を主体に情報を提供するサービスをしています。これをレファレンスサービスといいます。

過去に長野図書館で受け付けたレファレンスサービスをまとめてみました。ぜひご活用ください。

## 【凡例】

- ★ ( ) 内は本の背についているラベル。置いてある場所を示しています。
- ★ ラベルに“R”がついている、または“館内”というシールが貼られている本は貸出できません。館内をご利用ください。
- ★ 貸出できない本でも、必要な部分のコピーはできます (1枚…10円)。

## 質問4

質問4	江戸後期の善光寺周辺で起こった火災についての資料がみたい。
探し方	<p>①雑誌『長野』は長野郷土史研究会のホームページにてバックナンバーの目次が閲覧できる。→ <a href="https://naganokyodoshi.wixsite.com/my-site/nagano">https://naganokyodoshi.wixsite.com/my-site/nagano</a>          こちらで「火災」と検索してみたところ、雑誌『長野』第46号 p6-17に「回禄抄記—善光寺周辺の火災あれこれ—」の論文や、「善光寺町火災年表」などあり。また、「災害」と検索してみたところ、雑誌『長野』第87号が飢饉災害特集号となっており、p130-153に「長野県災害年表」あり。          長野県全体の年表ではあるが、たどっていくと、「善光寺大門町から出火、東町まで焼失」など、善光寺周辺の地名も見受けられる。          出典とされている『長野市史考』にあたる。長野市史年表があったので、ここから災害関連の年表を参考にしたと思われる。</p> <p>②他に火災についての記載がある史料がないか、長野市関連の古い史料をあたり、次の資料を紹介した。</p>

<p>質問 4 回 答 (参考資料)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『長野 第 45 号～第 48 号 (昭和 47 年 9 月～48 年 3 月)』 長野郷土史研究会 &lt;N050 ナ 9&gt; …第 46 号 p130-153 に「長野県災害年表」あり</li> <li>・『長野 第 84 号～第 87 号 (昭和 54 年 3 月～9 月)』 長野郷土史研究会 &lt;N050 ナ 19&gt; …第 87 号 p130-153 に明治四年までの長野県災害年表あり</li> <li>・『長野市史考』小林計一郎/著 &lt;N213 コ&gt; …p811-823 に長野市史年表あり。</li> <li>・『長野市史』長野市役所/編 &lt;N213 ナ&gt; …p126-148 に年表のように災害が羅列している。</li> <li>・『長野町小史草稿』渡辺敏/編 &lt;N213 ナ&gt; …p10-12 第六章に正徳元文寛延宝暦等の火災についての記載あり。</li> <li>・『善光寺門前町と防火水路』古畑和男/著 &lt;N453 フ&gt; …p13-17 に「善光寺町の火災」の項があり、p14 に「善光寺町主なる大火 一覽」あり。</li> <li>・『善光寺史研究』小林計一郎/著 &lt;N181 コ&gt; …p168-181 に「度重なる火災と復興」の項があり、p178-179 に「善光寺火災の 一覽」あり。</li> <li>・『長野市誌 第 3 卷』長野市誌編さん委員会/編 &lt;N213 ナ 3&gt; …p356-364 に「火災と火消し」の項あり、p356-358 に「表 11 善光寺町の 主な火災および地震」あり。</li> </ul>
--------------------------------	--

## 質問 5

<p>質問 5</p>	<p>善光寺五重塔の建立と廃滅年を探している。当時の高さも知りたい。</p>
<p>探し方</p>	<p>①長野県史・市町村史の目次は、データベースで検索できる。 →<a href="http://misuzu-mokuji.net/">http://misuzu-mokuji.net/</a> 『長野市誌 第四卷』に「まぼろしの五重塔」の項があるのが分かったので資料をあたり、p607 に「善光寺五重塔は、史料上、嘉禎三年(1237)の落成をはじめとして、焼失、再建を繰り返したことが知られている」とある。 参照に『善光寺史研究』があったことからこちらも確認する。p973-1064 に年表あり。(次ページ【質問 5 回答】参照) p178-179 で善光寺火災の一覽と、p168 からそれぞれの火災の解説がある。1179 年の火災で全て焼け、その後復興したと記載があるため、平安末期に塔は存在したと考えられる。</p>

	②『善光寺史研究』p236～238「七 境内諸堂」の項に「五重塔」あり。それによると、1469年の焼失後、1779年に高さ十四丈余、方七間、工費見積もり一万六千両で再建しようとするが、古礎不分明という理由で認められなかったとのこと。徳川氏の時代になってから焼失した伽藍などは徳川氏の責任で復興するが、それ以前になくなっている建物などの再建は認めないとされた。
参考資料	『長野市誌 第四巻』長野市誌編さん委員会／編集 <N213 ナ4> 『善光寺史研究』小林 計一郎／著 <N181 コ> 『善光寺に五重塔を！』中村 仙之助／著 <N180 ナ> 『善光寺史研究』善光寺史研究会／編 <N181 セ> 『信濃史蹟 下』福山 嘉久／著 <N292 フ2>
質問5 回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼失と再建を繰り返していたことがわかった。 治承三年(1179)の火災で金堂・四面回廊など全部が焼ける 嘉禎三年(1237)10月13日落慶 文永五年(1268)3月14日の火災で焼失、のち性定坊により再建 正和二年(1313)3月22日に焼失 文明元年(1469)に慈観上人が本願(勧進)となって供養したが、同6年6月に焼失</li> <li>・高さについて 『善光寺史研究』p237に寛政八年(1796)諏訪の立川和四郎富棟筆の善光寺五重塔設計図の写真がある。建築不許可に終わるが、再建しようとしていたものは、高さ十四丈余、方七間、工費見積もり一万六千両だった。</li> </ul>

## 質問6

質問6	県歌「信濃の国」の十州とはどこを指すのか知りたい。
質問6 探し方	<p>①キーワード「信濃の国」「県歌」などで資料検索したり、棚を見たりする。 →音楽に関する本は7類で、長野県に関する本は背ラベルにNがつき、郷土資料のコーナーにまとまっているので、N700番台の棚を探す。</p> <p>②『県歌信濃の国』p23に「信濃の国」が作詞された明治三十二年の『長野県統計書』は、県勢を次のように述べている。「信濃国ハ東山道中西二位セル大国ニシテ、東ハ上野・武蔵・甲斐、西ハ美濃・飛騨、南ハ駿河・遠江・三河、北ハ越中・越後ノ十州ニ跨リ…」とある。 また、p40に「越後(新潟県)、上野(群馬県)、武蔵(埼玉県)、甲斐(山梨県)、駿河と遠江(静岡県)、三河(愛知県)、美濃と飛騨(岐阜県)、越中(富山県)の十カ国・八県に境を接している。」とある。</p>

参考資料	『県歌信濃の国』市川 健夫, 小林 英一／編著 銀河書房 <N760 イ>
質問 6 回 答	越後 (新潟県)、上野 (群馬県)、武蔵 (埼玉県)、甲斐 (山梨県) 駿河、遠江 (静岡県)、三河 (愛知県)、美濃、飛騨 (岐阜県)、越中 (富山県)

## 質問 7

質問 7	善光寺御開帳回向柱に書かれた梵字は、何と書かれているのか知りたい。
質問 7 探し方	<p>①善光寺の案内や解説が載っている本、梵字の読み方や意味が分かる本を、資料検索や棚を見て探す。</p> <p>→寺や仏教に関する本は 1 類で、長野県に関する本は背ラベルに N がつき、郷土資料のコーナーにまとまっているので、N100 番台の棚を探す。</p> <p>梵字は仏教と共に日本に伝わった文字とのことなので、言語に関する 8 類の棚を探す。</p> <p>②『信州善光寺案内』p106 に「五輪塔をかたどった刻みがあり、これは「空・風・火・水・地」を表しています。」とある。</p> <p>③『梵字でみる密教』p58-59 に回向柱正面の一番下の梵字と同じものがある。「阿弥陀三尊の種子」であることがわかる。p132-135 に「五輪塔や塔婆の梵字」の項目あり。p134 図④に五輪塔の四面の梵字の読み方が記載されている。</p>
参考資料	『信州善光寺案内』善光寺事務局／監修 しのき書房 <N181 シ> 『梵字でみる密教 その教え・意味・書き方』児玉義隆/著 大法輪閣 <829 コ>
質問 7 回 答	<p>五大の種子とよばれる、胎蔵の大日如来を「空 (キャ)、風 (カ)、火 (ラ)、水 (バ)、地 (ア)」の五つの梵字で表したものが、四つの面で構成されている。正面には阿弥陀三尊の種子を表す梵字も書かれている。</p> <p>『梵字でみる密教』p58-59、134 に、その意味、読み方が書かれている。</p>

### 【長野図書館レファレンスサービス】

- ★ 長野図書館では、知りたいことがあり、調べてみたけれど情報がどこにあるかわからないときなど、司書が可能な限り調べ、図書館にある資料を主体に情報を提供するサービスをしています。
- ★ お電話またはカウンターにて直接面談でご質問をお受けします。
- ★ お困りのことがありましたら、お声掛けください。
- ★ いただいた相談と回答は、同様の事項を調べている方の便に供するため、相談者が特定できないよう個人情報保護に十分配慮した上で、レファレンス事例として公開させていただきます。